

病棟での24時間支援を、退院後の暮らしにつなぐ。
～急性期から地域まで考える福祉用具ケア～

第3回

あいち福祉用具 ケア研修会

参加費無料

※要事前申込



開催日時

2026年11月28日(土)
(10:00～16:00)

会場

Station Ai
1Fイベントスペース

〒466-0064

愛知県名古屋市長和区鶴舞1丁目2番32号
JR中央本線「鶴舞駅」徒歩6分

退院後の生活は、退院してから決まるものではありません。

病棟での過ごし方や介助方法、離床支援の積み重ねが、その後の暮らしを大きく左右します。

そして、その生活を支える重要な手段の一つが福祉用具です。

本研修では、ノーリフティングケアやポジショニングの視点から病棟での24時間支援を考えるとともに、退院後の生活を支える福祉用具の活用や多職種連携について学びます。

急性期から地域まで、「生活を支える福祉用具ケア」の実践を一緒に考えてみませんか。

プログラム

講演①

10:00
～11:00

なぜリハビリテーションは病棟と
連携しなければならない？
～ノーリフティング・シーティング
ポジショニングから考える24時間支援～

二井 俊行

愛知厚生連 海南病院
理学療法士

展示・体験

11:00
～12:00

病棟から地域につなぐ福祉用具ケア体験・体感会

講演②

13:00
～14:00

なぜ退院後に生活が崩れるのか
急性期・回復期の役割から考える
福祉用具と生活の再現性(仮)

牧 賢一郎

国立長寿医療研究センター
作業療法士

展示・体験

14:00
～15:30

退院後の生活を再現する体験会 ～福祉用具で変わる～

全体討論

15:30
～16:00

本日の講演を振り返り、
参加者全員で意見交換を行います

コーディネーター

春日井 亮太

ヤガミホームヘルスセンター
福祉用具専門相談員

※13:00～16:00 本研修は主任介護支援専門員更新研修受講要件 個別要件②に該当する研修です

※愛知県理学療法士会会員の方へ：日本理学療法士協会 生涯学習制度のポイント・点数の付与はございません

お申込み方法

お申込みは、下記二次元コードよりお願いいたします。 ※申込締切：2026年11月23日(月祝)

理学療法士・作業療法士
言語聴覚士の方はこちら⇒
(定員50名・先着順)



※申込締切後、参加方法等の案内メールをお送りいたします

その他の職種の方はこちら⇒

医師・看護師・介護職・介護支援専門員
福祉用具専門相談員等 (定員50名・先着順)



主催：公益社団法人愛知県理学療法士会

(問合せ先⇒info@pt-aichi.jp 開局時間：平日9:00～17:00 土日祝除く)

協賛：一般社団法人日本福祉用具供給協会 愛知県ブロック

後援：一般社団法人愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会

第3回 あいち福祉用具ケア研修会

展示・体験ブースのご紹介



第1部

11:00～12:00

多職種で一緒に体験しよう

ノーリフティング・シーティング・ポジショニング

体験・体感会 実際の福祉用具を活用して体験会

病院と地域をつなぐ福祉用具ケアを体験してみませんか。

本体験会では、ノーリフティング、ポジショニング、シーティングをテーマに、急性期から在宅まで切れ目なく活用できる福祉用具の使い方を体験していただきます。

キーワード ノーリフティング、ポジショニング、シーティング

第2部

14:00～15:30

退院後の生活を再現する体験会

～福祉用具で変わる～

チーム体験会 事例から学ぶ福祉用具活用法

退院後の生活を再現する体験会

「病院ではできていたのに、家ではできなかった」

そんな場面は少なくありません。本体験会では、退院後の生活場面を再現しながら、“できるADL”と“実際に使えるADL”の違いについて、多職種で考えます。福祉用具を実際に体験し、なぜ動作が難しくなるのか、どのような環境調整が必要なのか、どんな福祉用具が生活を支えるのかを、利用者視点で学び合います。

手すり、歩行器、車いす、ベッド周辺機器などを実際に触れながら、「その人らしい生活」を支えるための視点を深めていきます。“できる”を、“生活の中で使える”へ。ぜひ体験してください。

キーワード 多職種連携、退院後、福祉用具